

沢口上古墳・八木上遺跡

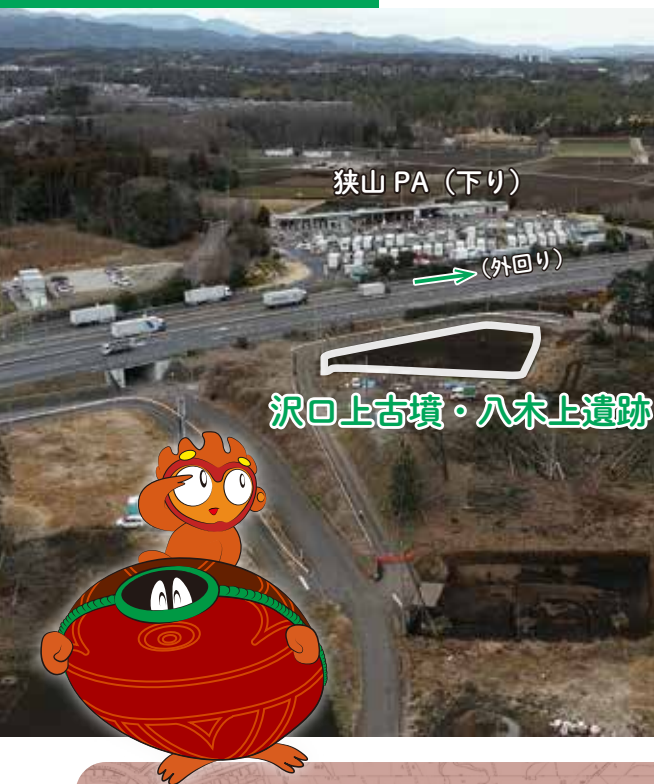


主催 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催 東日本高速道路株式会社 関東支社さいたま工事事務所・埼玉県教育委員会
後援 狭山市教育委員会

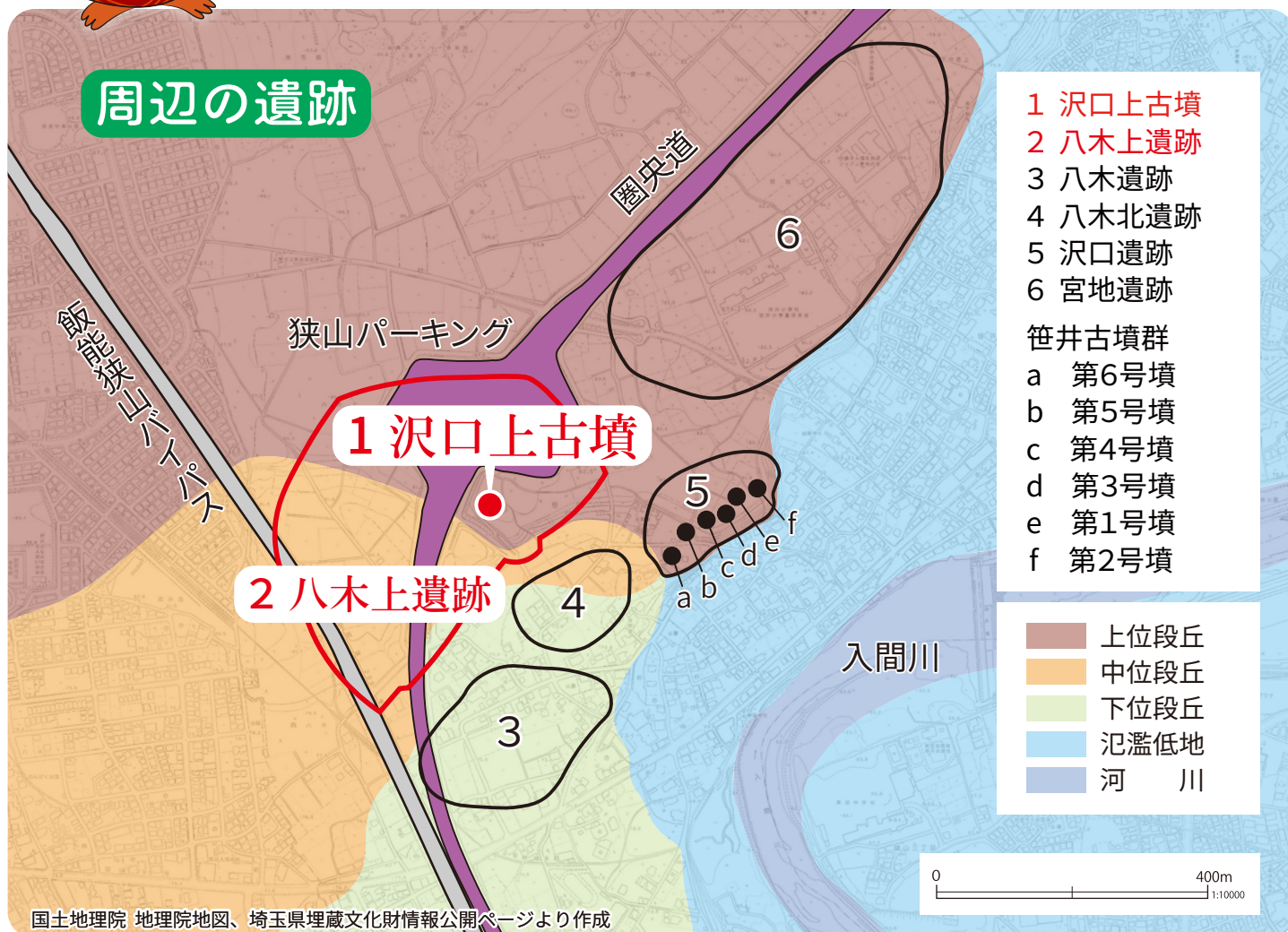
沢口上古墳、八木上遺跡の発掘調査は狭山パーキングエリア拡張事業に伴い令和5年から行っています。八木上遺跡はこれまで8回にわたる発掘調査で旧石器時代、縄文時代、奈良・平安時代、中世、近世の遺構や遺物が見つかっています。また、沢口上古墳は今年度が初めての調査となりました。

沢口上古墳、八木上遺跡は入間川中流域左岸の河岸段丘上に営まれた遺跡です。遺跡付近は3段の段丘面からなり、今回の調査地点は、最も標高が高い上位段丘に位置しています。南側には加治丘陵を一望することができます。

今回の見学会では6世紀から7世紀ごろの古墳を中心にご覧いただきます。



周辺の遺跡



かじきゅうりょう
加治丘陵



この古墳は調査区のほぼ中央に位置しています。直径約 30mの円墳で、墳丘は削平されていました。古墳を巡る周溝は4か所途切れており、周溝の幅 1.8m、深さ 50 cmほどです。古墳の中央部から石室が見つかっています。

東側に隣接して笹井古墳群が展開し、沢口上古墳と同様に河岸段丘の中でも高い位置に営まれています。笹井古墳群は1号墳と6号墳が発掘調査されていますが、石室のみの調査のため古墳の全容は分かっていません。笹井古墳群の石室は地山を掘りくぼめた上に構築された半地下式の構造となっています。沢口上古墳も同様の構造をしていた可能性があります。

古墳跡	1基
住居跡	4軒
土壇	44基
溝跡	1条
ピット	43基
性格不明遺構	2基

縄文時代
古墳時代
中世
近世

